

1. 施設の名称等

施設名称	長崎県立総合体育館
所在地	長崎市油木町7番1号

事業所管	教育庁	体育保健課
課(室)長名	松崎 耕士	

総合計画上の位置づけ	基本戦略	—	
	施策	—	
	事業群	—	

2. 施設の概要

設置年月日	平成6年3月19日			
設置法令等	長崎県体育施設条例第1条（昭和39年3月25日）			
設置目的	県民の体育及びレクリエーションの普及並びにその振興を図るため。			
利用対象者等	利用対象：特に制限なし 開館時間：午前8時45分～午後9時15分（利用時間午前9時～午後9時） 休業日：毎月第3火曜日、年末年始（12月29日～1月3日）			
施設内容	面積 16,227.793㎡ ・メインアリーナ棟 アリーナ2,424㎡（バスケットボール3面） ・サブアリーナ棟 アリーナ1,313㎡（バスケットボール2面） 武道場1,264㎡（柔道又は剣道4面） ・スポーツ科学・管理棟			
施設の利用料金体系	使用区分		4時間(1区分) 単位：円	時間外1時間 単位：円
	メインアリーナ (専用使用)	アマチュアスポーツ で使用する場合で 入場料無料の場合	児童生徒	1,760
			その他	3,520
	サブアリーナ (専用使用)		児童生徒	960
			その他	1,930
	武道場 (専用使用)		児童生徒	460
その他			920	

県 予 算	区 分 (単位：千円)		平成29年度 (実績)	平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (計画)
	財源	国庫					
		その他(諸収入)	200,033	180,502	197,065	213,783	166,778
	一般財源						
	事業費<A>		200,033	180,502	197,065	213,783	166,778
	内訳	管理運営負担金	156,744	156,810	154,452	158,712	131,042
		その他(トレーニング機器リース料等)	43,289	23,692	42,613	55,071	35,736
		人件費<B>					
	合計<C=A+B>		200,033	180,502	197,065	213,783	166,778
	単位あたりコスト		0.62	0.51	0.58	1.41	

(説明) 「当施設を利用する1人当たりのコスト」=C÷(年間利用者数)

### 3. 指定管理者の概要

指定管理者の名称等	《所在地》	長崎市湍町2番25号		
	《名称》	長崎ダイヤモンドスタッフ株式会社		
	《代表者氏名》	代表取締役社長 大熊 稔幸		
指定期間	平成 30 年 4 月 1 日 ~ 令和 3 年 3 月 31 日			
業 務	①施設の利用に関する業務 ②施設等の管理に関する業務 ③県民の生涯スポーツの振興のための業務 ④競技力の向上を支援する業務 ⑤スポーツ医学の推進及び調査・研究に関する業務 ⑥災害時等の緊急対応に関する業務			
利用料金制	■ 導入済	未導入	選定方法	■ 公募 非公募

### 4. 成果指標の達成状況及び管理運営に要した経費等の収支状況

成果指標の達成状況	① 年間利用者		(目標値の根拠)		＜令和3年度実施における変更点＞			
			①過去5カ年実績の平均		①令和2年度の実績			
			平成29年度 (実績)	平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (計画)	
		実 績						
		単 位						
①	a	目標値	人	359,000	351,000	333,400	342,300	150,800
	b	実績値	人	324,432	353,019	334,759	150,798	
	c	達成率b/a	%	90	100	100	44	
②	a	目標値						
	b	実績値						
	c	達成率b/a	%					
③	a	目標値						
	b	実績値						
	c	達成率b/a	%					
指定管理者の収支状況	事業計画 (R2)		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	(千円) 実績-計画		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(計画)	
利用料金	59,848	▲ 10,678	74,978	81,838	79,046	49,170	76,910	
県負担金	152,206	6,506	156,744	156,810	154,452	158,712	131,042	
その他		0						
収入計a	212,054	▲ 4,172	231,722	238,648	233,498	207,882	207,952	
支出b	212,054	▲ 18,315	214,724	219,068	216,872	193,739	209,452	
うち人件費	77,121	4,533	79,515	78,575	83,553	81,654	84,610	
収支a-b	0	14,143	16,998	19,580	16,626	14,143	▲ 1,500	
配置職員数 (人)	常勤 23	非常勤 2	常勤 23	非常勤 3	常勤 23	非常勤 3	常勤 23	非常勤 1

※この収支は指定管理者が行う管理運営にかかるものであり、この他に県が直接負担したのものとしては、「2 施設の概要」の「県予算」の「その他」がある。

### 5. 令和2年度事業の実施状況・実績の検証

	計 画	実 績
管理運営の状況	＜指定管理者実施分＞ ■施設の利用	＜指定管理者実施分＞ ■施設の利用
	①開館時間の弾力的運用	①利用者から要望があった場合には開館時間を延長して対応。(実績44件)
	②トレーニング室利用時間単位の見直し	②密を回避しながら多くの方に利用機会を提供するため、1日を2時間1区分の5区分に分け、運用を実施。
	③トレーニング室へのトレーナー配置	③利用が多い時間帯は、よりアドバイスをしやすいよう2名のトレーナーを配置。
	④トレーニング室利用者特典の実施	④トレーニング室利用ポイントカードを作成し、1回無料利用等の特典を実施。(交換者 延べ697件)
	⑤利用者の要望にそった施設・サービスの見直し	⑤各種サービス ・トレーニング室利用者向けにドライヤーの無料貸し出しを実施。(利用実績 延べ215件) ・シューズの有料貸し出しを実施。(利用実績 延べ147件)
	⑥情報誌の発行	⑥利用方法やｽｰｯ教室などの情報発信を目的に情報誌を発行。

<p>■施設の維持管理</p> <p>①施設設備の保守点検</p> <p>②清掃等の管理業務の実施</p> <p>③安全E C Oパトロールの実施</p>	<p>■施設の維持管理</p> <p>①各種設備は業者への業務委託による実施のほか、設備担当職員が施設点検として日に2～3回巡回、設備点検についても運転監視と併せて日に数回巡回し、トレーニング機器の使用前点検、備品の貸出前点検を実施。</p> <p>②日常・定期清掃の業者への委託のほか、建物外周の清掃を毎月休館日にスタッフで実施。</p> <p>③危険箇所や修繕必要箇所確認、省エネ活動点検を実施。</p>
<p>■生涯スポーツの振興</p> <p>①チャレンジスポーツ塾の開催</p>	<p>■生涯スポーツの振興</p> <p>①神経が発達する時期の子どもたちを対象に、一つの種目に偏らず、多くの運動を楽しみながら体験させるスポーツ塾を開催。 (年31回 1回あたり36名参加)</p>
<p>■スポーツ医科学の推進</p> <p>①スポーツ選手の体力総合診断</p> <p>②健康体力相談</p> <p>③研修講座の開催</p>	<p>■スポーツ医科学の推進</p> <p>①高校生以上のスポーツ選手を対象に、各種測定や診断を行い、トータル的なスポーツ医・科学のサポートを実施。 (実施回数40回、414名参加)</p> <p>②一般県民の健康維持・増進のため、個人の体力水準やスポーツ障害の予防法等について専門医による指導・助言を行った。 (実施回数9回、36名参加)</p> <p>③各種研修講座を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前健康づくり教室 (17名参加)</li> <li>・スポーツ医学研修会 (49名参加)</li> </ul>
<p>■自主事業によるサービスの提供</p> <p>①健康づくり・スポーツ教室の開催</p>	<p>■自主事業によるサービスの提供</p> <p>①専門の講師によりピラティス等の健康づくり、卓球やバドミントン等のスポーツ教室を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・funfunエアロ&amp;ピラティス教室 (実績27回 延べ132名参加)</li> <li>・心と身体を癒すピラティス教室 (実績40回 延べ503名参加)</li> <li>・やさしいピラティス&amp;ボールエクササイズ教室 (実績37回 延べ282名参加)</li> <li>・ピラティスでリフレッシュ教室 (実績27回 延べ255名参加)</li> <li>・バドミントン教室 (実績36回 延べ928名参加)</li> <li>・卓球教室 (実績20回 延べ299名参加)</li> <li>・夏休み体操教室 (実績6回 延べ111名参加)</li> </ul>
<p>②スポーツクリニックの開催</p> <p>③体育館主催スポーツ大会の開催</p> <p>④「わくわくスポーツDAY」の開催</p>	<p>②県内の競技力向上、競技人口の拡大を目的にトップアスリートの技術を体験する機会として、スポーツクリニックを例年開催しているが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止。</p> <p>③体育館主催のスポーツ大会を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バドミントン大会、卓球大会は中止</li> <li>・ソフトバレーボール大会 (実績1回、延べ94名参加)</li> </ul> <p>④県民の健康寿命延伸を目的にそれぞれのライフスタイルに応じた、健康づくりや介護予防のきっかけになることを目的としたイベントを実施した。(795名)</p>

管理運営の状況

■職員研修  
 ①ビジネスマナー研修の実施  
 ②設備研修の実施  
 ③トレーニング研修の実施  
 ④緊急対応要領研修の実施  
 ⑤コンプライアンス研修の実施

■職員研修  
 ①施設勤務スタッフ全員を対象に顧客満足度をアップさせるためのビジネスマナー研修等を実施。  
 ②各種設備研修  
 ・ロールバック設置、バスケットボールゴール設置、ゴムシート巻取り  
 ③トレーニング指導の充実を図るために毎月休館日を中心に実施。  
 ④施設勤務スタッフを対象に実施。  
 ・消防訓練（2回）  
 ⑤法令遵守、企業倫理遵守を目的に施設勤務スタッフ全員に実施。  
 ・個人情報保護マネジメントシステムに関する研修（1回）  
 ・情報セキュリティに関する研修（5回）  
 ・コンプライアンス全般に関する研修（4回）

<県実施分>  
 ①トレーニング機器等賃貸借  
 ②冷却塔取替工事、ブロック塀改修工事、冷温水器更新工事  
 ③エレベータ修繕

<県実施分>  
 ①計画どおり実施された。  
 ②計画どおり実施された。  
 ③計画どおり実施された。

検 証

・指定管理者としての業務は、協定等に沿って適正に実施されており、民間の視点による利用者サービスの向上等が図られている。  
 ・年間利用者数については、新型コロナウイルス感染症の拡大により、目標値342,300人に対して実績値150,798人と大幅な減少となったが、国のガイドラインに留意し、利用者へ手洗いや手指の消毒の呼びかけ等を行いながら、事業を実施している。  
 ・利用頻度の少ない曜日・時間帯に自主事業を開催するなど、積極的に施設の利用促進に努めている。  
 ・単なる体育施設の貸出し業務に終わることなく、各種研修会・講習会の開催等、研修機能が十分発揮されている。  
 ・ビジネスマナー研修の開催や利用者からのご意見に対する速やかな対応など、利用者に喜んでいただける施設を目指すという姿勢が伺える。  
 ・職場体験学習等の受け入れも行っており、地域との連携、学校教育の支援及び青少年の健全育成などにも積極的に取り組んでいる。  
 ・「わくわくスポーツDAY」として、ライフスタイルに応じた健康づくりや介護予防の啓発を目的としたイベントを実施している。

収支計画・実績

<指定管理者実施分> (単位：千円)

主な項目	計画	実績	増減理由・収支改善の取り組み等
収入 a	212,054	207,882	
うち利用料	59,848	49,170	トレーニング室利用者数の減による。
うち負担金	152,206	158,712	新型コロナウイルス感染症対策に伴う負担金の増による。
支出 b	212,054	193,739	
うち人件費	77,121	81,654	臨時職員給与の増による。
うち管理費	78,475	63,016	新型コロナウイルス感染症に伴う各種事業の中止による。
うち委託料	56,458	49,069	業者選定の際の入札減による。
収支a-b	0	14,143	

<県実施分>  
 ①トレーニング機器賃貸借 3,904,917円  
 ②冷却塔取替工事、ブロック塀改修工事、冷温水器更新工事 51,166,106円  
 ③エレベータ修繕 429,000円

検 証

・利用料収入は、トレーニング室利用者数の減により計画額59,848千円に対して実績49,170千円と大幅に減少した。  
 ・支出については、委託業者選定の際の入札減や、新型コロナウイルス感染症による各種事業の中止などに伴う管理費の減により、計画額212,054千円に対して193,739千円の実績となった。

収支の状況

指定管理者制度の導入効果を踏まえた施設の設置目的の達成状況の総合評価	<b>B</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者の導入目的のひとつである利用者サービスの向上については、民間の視点からさまざまな工夫が継続して行われており、新型コロナウイルス感染症により利用者数は減少したものの、事業の取組み自体は利用者の増加に繋がっていることから導入効果は著しいと判断される。</li> <li>・もう一つの導入目的である管理経費の縮減については、可能なものは職員が行い、業者への委託経費の削減を行う等、直営時よりも大きく縮減されている。</li> <li>・限られた経費でより良いサービスの提供が行われるとともに、利用者の平等な利用に配慮しながらも、公共性の高い利用への優先性の考慮や公益性を配慮した減免措置の実施など、施設の設置目的に沿った管理運営がなされている。</li> </ul>	

## 6. 令和3年度事業の実施にあたり見直した内容

内 容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用者の利便性を考慮し、共有スペース、会議室などへのWi-Fiを導入する。</li> <li>・新規ホームページを立ち上げるにより、より情報発信しやすい環境を整備し、利用者にタイムリーな情報を提供できるようにする。</li> <li>・東京パラリンピック後の盛り上がりに合わせて、障害者スポーツ体験会を開催し、障害者スポーツの更なる認知度向上を目指す。</li> </ul>

## 7. 令和3年度事業の評価 ※評価区分（a：行われている、b：一部行われていない、c：行われていない）

	視点	評価	判定理由
指定管理者の行う管理運営等に関する評価	・施設の設置目的にあった管理運営が行われているか。	a	・利用者のニーズに合わせた体育・レクリエーション活動の場として活用されている。（これまで同様コンベンション機能を有した体育館としての活用も行われている。）
	・住民の公平かつ平等な利用の確保が行われているか。	a	・長崎県公共施設予約システムにより機械抽選で利用者が決定されている。（全国大会・九州大会・県大会等の優先利用についても確保されている。）
	・利用者に質の高いサービスの提供が行われているか。	a	・単なる体育施設の貸し出しに終わることなく、スポーツ教室の提供や研修事業等多岐にわたる事業が実施されている。 ・利用者アンケートを実施する等、利用者のニーズに応えるよう努めている。
	・施設・設備の維持管理は適切に行われているか。	a	・定期的な巡回による管理が行われており、特に利用者の事故防止を最重要課題として取り組んでいる。
	・収入の確保に向けた取り組みが行われているか。	a	・利用者サービスを収入増に結びつける各種取組と、利用者増のためのPR活動や営業活動を実施している。
	・経費節減に向けた取り組みが行われているか。	a	・職員ができることは職員でとのスタンスにより、全体的な経費の削減に取り組んでいる。
	（その他の観点）		

		視点	評価	理由
施設の在り方についての評価	必要性	・県民ニーズに照らして、事業の必要性が薄れていないか。	■ a. 薄れていない b. 一部薄れている c. 薄れている	・県立の体育館として、プロスポーツをはじめ全国・九州・県大会等の会場として、また生涯スポーツの場として活用されている。
		・事業を取りまく環境、経済情勢などの変化に適応しているか。	■ a. 適応している b. 一部適応していない c. 適応していない	・近年、県民の競技及び生涯スポーツへの取組は益々活発になっており、必要性も増している。
		・市町または民間に移管・移譲することが適当（可能）ではないか。	■ a. 適当（可能）でない b. 一部適当（可能）でない c. 適当（可能）である	・県立の体育館として、プロスポーツの大会をはじめ全国・九州規模大会等にも十分対応できており、今後も広く県民の集う競技及び生涯スポーツ施設として県が担う必要がある。
	効率性	・県の負担や業務量に見合った活動結果が得られているか。	■ a. 得られている b. 一部得られている c. 得られていない	・県負担額は大幅に削減されたうえで、利用者のサービス向上を含め、従来にも増した事業展開が行われている。
		・指定管理者制度以外で、同一の県負担や業務量でより大きな活動結果が得られる手法に代えられないか。	■ a. 代えられない b. 一部代えられない c. 代えられる	・指定管理者制度の導入により、県負担額は大幅に削減されたうえで、従来にも増した事業展開により、利用者の確保につなげている。管理運営の経費削減の実効性等から見ても指定管理者制度が有効に機能していると考ええる。
	有効性	・指定管理者制度は、施設の設置目的の達成に十分寄与する手法となっているか。	■ a. なっている b. 一部なっていない c. なっていない	・スポーツ教室や県民の健康づくりのための自主事業を実施するなど、利用者サービスの向上に努めており、県民の健康の振興に寄与している。
・事業効果をさらに上げる余地はないか。		■ a. 余地はない b. 一部余地がある c. 余地がある	・提案された計画を、県が内容検討のうえ承認し、事業はその計画に沿って実施されている。施設は利用者も増え、以前にも増して活性化している。	
(その他の観点)				

## 8. 令和4年度事業の実施に向けた方向性

区分	現状維持	■ 改善	移管	廃止
(説明：令和4年度事業の実施に向けた方向性の理由・見直しの内容)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アリーナや武道場等の運営、施設設備の保守点検や清掃等の管理業務については、協定書に基づき適正に行われており、今後も利用者へのサービス向上を図りながら適正な管理運営を行っていく。</li> <li>・専門講師によるピラティス、ヨガ等の健康づくり教室や県立総合体育館主催のスポーツ大会の実施など様々な自主事業を行うとともに、令和2年度に開催した「わくわくスポーツDAY」と同様、引き続き県民の健康づくりを支援するイベントも実施し、利用者数の増加を図るとともに増収に努める。</li> <li>・なお、新型コロナウイルスの感染状況を引き続き注視し、さらに感染症対策を徹底しながら事業を実施していく。</li> </ul>				